

## 三者共催講演会（生徒 感想）

（1 / 18）

私はもう文理選択は終わっていたけれど、桑子先生の話聞いて理系のこととか少し分かった気がしました。文系と理系は全然関係ないと思っていたけれど、将来のことを考えるととても関係があるんだと感じました。

桑子先生の好きな「グーグルアース」で色々な場所を見れて、地層の話なども聞いて地学が好きになりました。私は地学基礎を選択しているけど、大学に入ったりしたら地学にも触れていきたいと思ったし、高校1年の時にしかやらなかった化学や今までやったことのない物理にも少し触れてみたいなと思いました。

文理選択が人生の全てじゃないけれど、その選択によって変化する職業や大学などをしっかり考えていくべきだなと思いました。自分の選択肢を絞らずに、色々挑戦していけたらいいなと思います。（3年 女子）

（2 / 18）

私は今日、桑子先生の話聞いて、何をやるにも知識というものはやはりとても重要なものだと思えました。

私は高校2年になる時、文系を選択して今も勉強していますが、物事を客観的にみるためには、理系の知識が必要だと思います。学ぶことにデメリットはありません。学んだ分だけ、自分に力がつきます。そのように考えると、勉強に対する意欲が少しはでてくるのではと思います。桑子先生の言っていた通り、身の回りの小さなことにも意識を着目させて疑問を感じ、いろんなことに興味を持てるようになりたいと、私は思いました。そして将来社会で生きていくためにも、より多くの知識を身につけ、活躍できる人になりたいと思います。

今日のお話は、私のこれからをどうすごしていくかについてすごくためになる貴重なお話でした。（3年 女子）

（3 / 18）

私は文系にいらながらも理系の分野への進学を目指しています。理系よりも不利なのではないか、という不安もありましたが、今日、桑子先生がおっしゃっていたように文系で学んできたことが理系でも役に立つことを知り、それを活かしていけることも自分自身の強みになるのではないかと感じました。

また、桑子先生が最後におっしゃっていた目標を決めて、そこに向かうまでのプロセスを考える、というのは今後の進路選択だけでなく、人生の様々な場面で必要になると思いました。そして、その過程の中で多様な選択肢の中から自分にあった最善の選択をすることで、自分らしい生き方ができるのではないかと感じました。

人とのコミュニケーションの中でその人の専門性や優れた点を見つけることはどの職業でも大切なことだと思いました。

貴重なお話を聞いてよかったです。(3年 女子)

(4 / 18)

私は文系の私大に進むため、文系3教科をひたすらやっている。しかし、はじめは国公立大を視野に入れていたため、数学や理科の授業がある講座にいる。これらの授業が受験で使わないから無駄であるかということ、そうではない。高校で教わる勉強はどれも専門的というよりはむしろ一般教養に近いと思う。桑子先生の話からも、そういった知識は、様々な場面で役立つことは明白である。

大学へ進学すると、より専門的で狭く学問を追及することが多いだろう。しかし、特定の分野にとどまらず、様々なことに興味をもつことで、博識というだけでなく応用の利く人間になれるのではないかと感じた。

学問同士のつながりを見出すことで、知識をどう活用できるか考えたいと思った。(3年 女子)

(5 / 18)

桑子先生のお兄さんのお話は、以前から少し聞いたことがあり、教科書にも文章が載り著書も出版されているすごい方なので、いつかお会いしてみたいと思っていたので、とてもよい機会でした。

文理選択について焦点を当ててお話をしてくださりました。その中でも私の心の中に留めておきたいと感じたことをここに残そうと思います。

1つ目「観察すること・推理すること」日常からよく観察し、どうしてそうなるのか推理する力を養うことが大切だと言っていました。どんな学問を学んでも、教養がないと海外の人に日本の説明ができないとおっしゃっていました。また「人の話を聞く」ことも大切だとおっしゃっていました。

2つ目「周りの人に頼ること」私は、東大も出て知識がある人が周りの人に頼

るというスキルが大切だといっていることに驚きました。私はあまり人に頼るといふスキルが上手ではないので強い印象を受けました。自分があまり知識がないことは、自分よりよく知る人に頼ることが大切。そのために、出会いを大切にしているとも言っていました。出会いがあれば自分の知識も広がるので、出会いは大切にしたいと感じました。

これらのことが桑子敏雄先生のお話を聞いて自分が得たものです。おもしろいお話だったので、またお会いしたいと思いました。また、拘束されていた安田純平さんについてどう考えるのか、お話を聞いてみたかったです。(3年 女子)

(6 / 18)

私は、今まで自分の住んでいる地域にそこまで関心をもたず、あたりまえのように過ごしていました。しかし、今日の講演をきき、よく観察し、そして興味をもったことについて深く追求していくことの大切さについて考えることができました。今日の講演で、沖縄の森の対立や大通りの活性化についての話を聞き、多くの人が地域について問題意識をもって考えていることを知りました。私も自分の地域についてよく知り、なにか疑問を見つけられるぐらいの関心を持っていきたいと思った。桑子先生が話し合いの仲介に入る中で、相手の話をよく聴くこと、また聴くという中には、尋ねるという意味をもっていることをきき、相手の話を質問できるまで、自分の中で理解し、話し合っていくようにしたいと思った。社会に出ていく上で教養を身につけ、これからの学びに積極的に参加していきたいと思いました。(3年 女子)

(7 / 18)

私は文系という選択をして、将来の夢があいまいで決めたから、職業選択の範囲を狭めてしまっていたけど、今日の桑子先生のお話を聞いて、文理選択も大事だけれど、将来の夢について大きくみて考えていこうと思いました。また、観察することが大事だと言っていて、それは実験とかに限らず、何かを考える時、人間間も含めて問題が起きた時、しっかり観察して正解を導けるようになりたいと思いました。特に、賛成派と反対派のような、意見が分かれてしまった時は、相手の話を客観的にしっかり聞いて、それに対し質問もして、お互いが納得できるような考えをだすことが大事だとわかりました。今日の話は、文理選択についての考え方を学ぶこともできたし、これからどう将来に向かって

いくつかを考える機会にもなったのでよかったです。自分の興味のもてる分野、夢をちゃんと考えて勉強がんばりたいです。(2年 女子)

(8/18)

今日の講演会では、私は

「理系・文系で分かれて勉強しても、何かを学び、作る時に、理系・文系は関係なく協力することが大切だ」

ということを学びました。

特に、桑子先生のお話の中でこれを感じることができたのは、国頭村での環境保護と人の住みやすい環境づくりのお話です。私は「環境保護」と聞くと、理系の分野だというイメージでした。しかし、今回、先生のお話を聞いて「環境保護」は理系の分野の人がメインであるけれど、そこに文系の分野がいっさい関わらないではなく、互いに協力し合い、さまざまな角度や視点から見ていくものなんだと感じることができました。

私はまだ全然、進みたい進路への準備ができていません。でも、今回の先生のお話を聞いて、少しずつでも夢に向かって進みたいと思えるようになりました。ありがとうございました。(2年 女子)

(9/18)

今日の講演を聞いて、景色を見ること、どんな選択があるか考えること、そしてその選択をまちがえないことが大切だということがわかりました。

まず1つ目の景色を見るということに関しては、周りをよく見るということに関連つくと思いました。また周りをよく見るからこそ2つ目の選択肢も広がると私は思います。そして、3つ目の選択をまちがえないようにするためには、1つ目、2つ目のことをしっかりこなし、また自分が今後どうなりたいのかをしっかりとした目標を立てることが大切だと感じます。このことから、まずは自分の身の周りをよく見て、その後自分の将来について具体的に決定していくことが大事だと感じました。だからまだ私も明確な将来がきまっていないので、今日のことを最大限生かして、今後の生活は周りを見たり、考えたりしていきたいです。(2年 女子)

(10/18)

最初私は、風景の中にある哲学というものはどんなものなのか、想像もつきませんでした。ですが、桑子先生の話聞いて理解できたような気がします。特に「地域ごと携わっている行政が違って、道路が整備してある所もあれば、あまり整備されていない所もある。川がきれいな所もあれば、そうでない所もある。地域ごと、力をかけている部分が違うことを読みとれば、そこに暮らしている人々の生活様式も見えてくる。」という言葉にとっても興味がわきました。実際に自分で風景の中から情報を読みとり、将来暮らす場所をきめたりすることもできるのかなと思いました。私は今、文系で学んでいますが、生きていく上では必ず理系の内容も必要になってくると思います。そんな時は、自分の考えだけを頼りに生きていくのではなく、多くの人と関わりを持ち、他者の意見からヒントを得ながら、多くの情報を読みとって生きていきたいです。(2年 女子)

(11/18)

今日の講演会を聞いて、まず二葉の先生である桑子彰先生のお兄さんってことでとても声が似ていて驚きました。講演の途中にいくつかある写真がおもしろかったです。

私たちが今住んでいるこの地域は、断層でできていていつ地震がおきてもおかしくないということを知り、もっとこの諏訪地域のことをしらなければいけないと思いました。今の社会では理系の人と文系の人がチームとなって仕事をしています。同じ条件の中で発見できることはたくさんあるので、理系に有利なこと、文系に役立つことをしっかり観察するべきだと思いました。

このように、今回の講演を聞いて、地域の特色を見つけ出し、ここにはどのような仕事が必要かや、理系をとったからこそできることを考えていきたいと思いました。将来のためにしっかりとまずは勉強をがんばります。ありがとうございました。(2年 女子)

(12/18)

私は文系講座にいて、大学も人文学部のほうに進もうと思っていたので、今までなんとなく理系分野を軽視していました。しかし、先生のお話を聞いて、何をするにしても両方の考え方が大切なのだと気づかされました。私には既に就きたい職業が明確にきまっているため、その目標に向かって文理の両方をきたえてい

きたいです。

また、風景からその地域のお金を使い方がわかるという言葉がとても興味深かったです。大学入試のこともあります。社会に出た後も観察眼と、それを伝える能力というのはとても大切だと思います。そして先生のおっしゃっていたリーダーシップを聞くことは、自分が観察し気付いたことから企画する際に必須だと改めて感じました。

私は今まで、教科書での学びばかりをしていましたが、そこに自らの気付きと色々な考えを持った人たちから聞くことを足すことが一番大切だと思いました。

(2年 女子)

(13/18)

普段の生活の中から不思議に思ったことをピックアップしてみると、それがどんな分野なのか分けられるようになっていたと思いました。先生のお話にあった生物系だったり、哲学の話だったり、1つの疑問の中にいろんな分野があります。私はよく自然現象に興味を惹かれます。テレビでやっていた不思議な現象がすごく綺麗だったり、すごく怖そうだったりして、なぜそんなことがおこるのかと知りたくなります。自然現象だから、これは理系なのかなと思いましたが、今日のお話を聞いてよく考えてみると、その地で起こった出来事も影響しているのではないかと、歴史的な話にもなってきます。そこで自分はいったいそれについての何を学びたいのか、はっきりさせることになります。深く考えることで自分の学びたい分野がわかると今日の講演で聞いたので、今後の進路学習につなげていきたいと思いました。(1年 女子)

(14/18)

私は、将来なりたいものが決まっていて、それを実現するために努力はしているつもりです。それでも、ただ努力といって勉強するだけでは駄目で、人と関わるコミュニケーション能力や、様々な分野で利用することのできる知識が必要なのだとわかりました。

このことから、今の勉強も努力を毎日続ける事、そして、今まで以上に人と関わることを大切にしていきたいと思いました。

私は、先生の進路の決め方を聞いたとき、とても難しい考え方をされていると感じました。生物に興味があったというところからまた、社会的な問題とも結び

つけて将来の自分の理想図を描くというのは高校生だからといっても簡単にできることではありません。私は、少しでも周りのことを広く見て将来を考えようと思えました。

また、諏訪市の魅力というのも自分の中で感じられたので、大切にしていきたいです。(1年 女子)

(15/18)

今回は、貴重なお時間をいただき、また、遠方からお越しくださりありがとうございました。桑子彰先生も、桑子敏雄先生も、こんなに偉大なお方だとは思いませんでした。物を知ることは、その場の経済の状況や暮らしを知ることができるということに、感銘を受けました。大学に行ってからどんなことをしたいかは、まだ明確になっていませんが、自然環境の研究も、なかなかおもしろそうだなと思ったので、進路にも一応考えてみようと思いました。地域を活性化させる動きはその中身がかなり重要になってくるのだと思います。地質調査でその土地の特徴を調べたり、さらに気候なども視野に入れるとその地域の良い所が出てくるのだから、やっぱり、文系も理系も重要な役割をもっているのだなあと感じました。自分の今後の進路を考えるのにも、今回の講演はかなり良い経験になりました。これからの進路実現に向けて頑張ります。(1年 男子)

(16/18)

私は今まで理系は自然系・計算、文系はその他のような考えで、2年になったら理系をとるつもりなので、まったく文系に興味がありませんでした。しかし、今回の桑子先生のお話を聞き、世界を観察していると文系・理系の要素がたくさんあることを実感しました。桑子先生のお話を聞いたうえでの私の解釈になってしまいますが、私は、将来の夢がだいたい決まっています。今の私はその道しか考えていません。しかし、桑子先生のおっしゃっていた「観察する」ことにより、自然に対しての新たな興味を示し、それに向けて大学で研究する、あるいはそれに関する職業につきたいと思うかもしれません。高校に入学してすぐ、進路・進路・進路と言われ、少しあせっていましたが、一回少し落ち着いて、周りの環境や社会を見つめ直したいと思います。そしてその環境、社会から推測し、自分の楽しめる人生を送りたいと思います。(1年 女子)

(17/18)

今日は1時間半の中でいろいろな話を聞くことができた。特に印象に残った話は、ふだんからよく観察し、推測するということです。大学入試の最新の問題は、本当に日常に重ねて考えるような問題でした。そういった問題に対応するために、まずはわかりやすい京都の歴史的景観や東京の街並みについてよく観察してみて、どうしてそんな景観なのかを推測してみたいです。そして、私たちの身の回りで起きている変化を迅速に感じ取り、対応できる人になりたいと思いました。自分は将来の夢が決まっており、文系に進むので、今の国語力では足りないと思います。なので、今から先生がおっしゃっていた日常観察をはじめ、様々な現象について文でまとめてみるというのも良いかもしれません。今日は自分の将来に向けて、本当に役に立つ講義でした。本当にありがとうございました。(1年 女子)

(18/18)

私の夢はまだ具体的には決まっていないが、優しい大人になることです。今回の講演では特に“よく観る”という話が心に残りました。例えば、困難な状況に出会ったとき、よく観ることでいろんな面からその問題が見え、いろんな策が浮かびます。そこからさらに推理し、各々の策の弱点などがわかったうえで最善な策を選択できます。これを人助けという状況に置きかえてみれば、私はきっと多くの人をたすけることができるのでは?と思いました。だからこれからの生活ではもっと視野を広げ、よく観て、1つの物事を深く考えて対応できる力が必要だと思います。また、具体的な将来の夢を見つけていく過程で、改めてだれの意見にも左右されず、自分の中にある選択肢のうちから、自分が“これが良い”と思えることを選ぼうと思いました。そしてその時にもたくさんのパターンを想像する、“よく観る”ということをお忘れずにいたいです。(1年 女子)